



学級園に植えられたなすびは、鮮やかな紫色の花を付けています。お隣のトマトも、かわいい実がなり始めました。子供たちが留守の間も野菜たちはすくすくと育ち、みんなが帰ってくるのを待ち望んでいます。いよいよ、臨時登校も金曜日を残すのみ、あと一回となりました。来週(6月1日)より、いつもの学校生活が始まります。

今日、朝から登校してきた男の子に、「来週から学校始まるけど、どんなきもち〜?」と尋ねてみました。「じしんがない・・・。」という返事でした。「そうか・・・子供たちは、もしかしたら今までの生活と一転する毎日に大きな不安と負担を感じているのかもしれないなあ。」と思ったところです。

昨日、日本ユニセフ協会より「学校再開にあたって、学校の先生方へ」というメッセージが届きました。その中には、【多くの子供たちは、学校の再開を待ち望んでいたと思います。それと同時に、いろいろな心配から学校の再開をむしろ不安に感じている子供たちもいるのかもしれませんが。社会が不安とストレスを抱えながら感染症とのたたかいに取り組んでいる中で、子供たちが心に受けている影響は大きいものです。このような状況の中で、子供たちにとって、学校が安心できる場であること。いろいろな不安を聞いてもらえたり助けてもらえる場であることを願います。】と書かれてありました。

来週からの再開にあたり、今まで以上に子供たちの様子をしっかりと見ていくことを職員と共有しました。そして、子供たちの生活のスムーズな移行を考え、始まりの一週間(6月1日～5日)は、40分授業とし、下校の時刻を少し早くします。詳しくは、各学年の時間割りをご覧ください。また、子どもさんのことで何かご心配なことがありましたら、どうぞ早めに学校にご相談ください。

6月の再開にあたり、学校が子供たちにとって、安心できる居場所であるよう、全職員で取り組んでいきたいと思っております。

校長 武永 春美



6年生は、「学校のために何か動こう」ということにチャレンジしています。今日は、運動場の草取りをがんばってくれました。カッコいい6年生です。

最後まで一輪車の片付けをしてくれていた堀田君と嶋田君



大町の吉田さんより、学校で使ってくださいとたくさんのマスクを頂きました。ありがとうございました(^o^)

